

東北の工業時報

行發日廿十日一回三月每
吉梅越堀行發總轉印
一廿日丁一町平縣島福
社報時工南北東所行發
圓一金行一料皆廣
錢卅月ヶ一錢十金部一
圓三共稅郵年ヶ一

局支社本
福島市外八島三河尻
石城郡小名濱町
相馬郡原町
双葉郡富岡町
東白河郡棚倉町
東京市足立區本木

勃興の機運にある

中小商工互融機関

他力本願を捨て

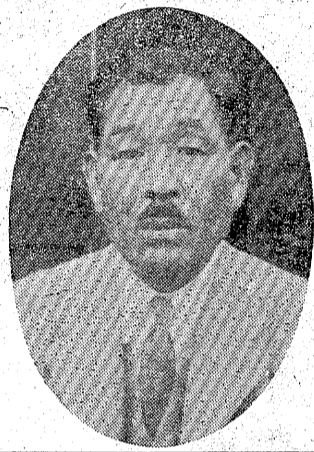
自力更生への轉向強調

東北商工時報社社長 堀越 梅吉

商權

擁護同盟の結成
除否定せんとすることは必要はない、昨年孤々の
盾も亦甚だしい事である、
とが熾烈なる反産とか、百
貨店攻撃とか、或は米穀管
理法案への反対運動とか言
ふ事は之ともなほさす中
小商工業者層の生存権を脅
威する、大資本主義への反
抗、消費階級合同への反抗
でなくてはならぬ。中小
商工業者の没落が運命的存
在の如く解せらるゝ現代社
會に於て、殊に統制經濟的
恩潮の著しく勃興し來れ
る今日に於て生活權確立は
業者層の生活擁護
中小商工業者自體にとりては、之を他力本願
今一層の明確さを以て考案的に他人への依存
せられねばならぬ急問題
である、
ではなく、業者相互に相結
成せしめたる所以のものは
び相扶けて、その生存權確
一に此の時代の要求に答へ
して生産と消費との聯絡を
立する事に邁進するを急務
たる機關を提促したるが故
國家的統制による配給網に
依りて結成せらるゝならば
地に墮頭しつゝある或る中
そは別問題ではあるが苟く
小商工互融或は互助の團體
機關の如何に時弊を救ふの
も資本主義機構を是認する
の如きは皆、此の要望への
重要な役割を果すものな
限り、現在の配給機關たる
「現はれ」であると断じて
るかを立證せるものと稱し
てよからう。

以上



除否定せんとすることは必要はない、昨年孤々の
盾も亦甚だしい事である、
とが熾烈なる反産とか、百
貨店攻撃とか、或は米穀管
理法案への反対運動とか言
ふ事は之ともなほさす中
小商工業者層の生存権を脅
威する、大資本主義への反
抗、消費階級合同への反抗
でなくてはならぬ。中小
商工業者の没落が運命的存
在の如く解せらるゝ現代社
會に於て、殊に統制經濟的
恩潮の著しく勃興し來れ
る今日に於て生活權確立は
業者層の生活擁護
中小商工業者自體にとりては、之を他力本願
今一層の明確さを以て考案的に他人への依存
せられねばならぬ急問題
である、
ではなく、業者相互に相結
成せしめたる所以のものは
び相扶けて、その生存權確
一に此の時代の要求に答へ
して生産と消費との聯絡を
立する事に邁進するを急務
たる機關を提促したるが故
國家的統制による配給網に
依りて結成せらるゝならば
地に墮頭しつゝある或る中
そは別問題ではあるが苟く
小商工互融或は互助の團體
機關の如何に時弊を救ふの
も資本主義機構を是認する
の如きは皆、此の要望への
重要な役割を果すものな
限り、現在の配給機關たる
「現はれ」であると断じて
るかを立證せるものと稱し
てよからう。

縣は 中小商工階級救済の一助として

二割補償無擔保三三
圓、有擔保一千圓迄
の低利資金融資案を
縣下銀行業者に提示
し其の賛意を求めた
るに、銀行業者は躊
躇容易に決せず、再
三懇諭漸く、四割補
償無擔保三千圓有擔
保一萬圓を限度とせ
る條件のもとに溢々
乍ら承諾するに至つ
たものである、今日
無擔保にて三千圓信
用を有する者或は一
萬圓の擔保に價する
有價證券或は不動産
を有する者は、吾々
の所謂中小商工階級
に果して幾人が存在
す可き、假に存在す
るとするもかゝる階
級の商工業者の國家
や縣の補償を受けな
くも裕々金融の途を
構じ得るもので殊更
縣が主唱となりて銀

縣會議員

小名濱町長

小野晋平氏を語る

小野晋平氏は永いこと町長られ亦石城郡政友會副會
を勸め、町民の要望と自ら長等政治的或は又實業的に
計畫する施設をたまねく實活躍し其の上縣會議員とし
現に町政刷新に盡力し「名て大いに活動する氏は一層
町長」として信望を集め去仕事が多く舞臺も廣くなり
る二日小名濱町長に満場一殊に五十一才といふ油の乗
致で推選され小名濱建設へ一切つた男盛りの年輩で將
の第一歩踏み出された、
今回縣會議員に氏出ずん氏は前任期中目覺しい働き
は新興小名濱商進は如せん振りを見せた闘士であり政
漁村の振興發達を双肩に背黨政派を超越して努力せし
負つて再度縣會議員になつ才氣漁漁が猶一層今回は見
たのである、
氏は町長、磐城水産工業株機略從横人物もすつかり洗
式會社々々長其他重役に擧げ練された人格者であり性格

中野齒科醫院
院長 中野 惠次
醫學士 西川 誠
平町 田町
電話五〇九番

團體を結成せしめて其處に
資本的なる、又立法的なる
援助を與へ、業者は業者外
として其生活擁護確立せしむ
るが至當である、寧ろ要は
銀行業者に談するよりも今
や各地に勃興しつゝある中
小商工互融會或は互助會
の如き團體を善導扶翼して
その大成を期せしめ可きが
至當であり又捷徑である斷
じて過言であらざる事と信
じてやまず。

和洋金物 銅鐵問屋
釜屋商店
平町 電話九九番 九番

小名濱藝妓屋組合 小名濱料理旅館組合

頗る弾力性に富み勇往邁進ある、一見無難作の如く見
して何物にも驚かないといえるがどうしてなか／＼細
ふ人物は頼もしい限りで氏心のひらめきを鋭く發揮す
は小名濱港に懸る問題を善る自我實現の哲學を鮮やか
處解決ばかりでなく磐城各に持つところの氏の獨特の
濱のために將又全部の捨て味と言ひ得る、何時も研究
石となつて飽までも正義公的態度を忘れず、細心微密
明に至誠の一路を邁進され實行してゐる政治家であり
る事であらう、
郡民殊に濱通りが氏に期待華々しく振舞ふといふこ
するも澤山あり亦實際仕事とをせずには實本位に進む
をするも、かうと信じやう方針を選んで堅實性の深い
あるところ、小野氏の小野のあらゆるものに打診して
あるところに小野氏の小野のあらゆるものに打診して
氏たる人物があるのだ、五だ、周囲の人々は彼に縣會
尺の体軀に宿る情熱と氣魂から進んで衆議院に議席を
一面メーボの如く見せて對占める事を待望してゐる、
手を魅惑感動せず止まなかくて残されたのは今後の
い、選挙のため町長を辭職飛躍だ氏の健康を祈りて筆
したものの、亦直ぐ再選されを稿く、

有志の奮闘酬えられ

平町を中心とせる扶助機關

石城中小互融會の業績觀

其の賛助員の熱贊

小名濱方部の開設

前途は洋々としてこれ

大海原の如く展び行く

起つ べくして未だ起

たなかつた濱三郡地方の經濟中心都市、平町に同感の士の奮起して悲境に沈淪する中小商工業のために互融會創立の完成せしめられた事を報告し得るのを喜ぶものである。今同會の發企人を見るに

- 水野虎三郎氏
- 赤津庄兵衛氏
- 吉田定正氏
- 渡邊太次郎氏
- 安島久氏
- 吉田昌弘氏
- 永山常治氏
- 其他數名

等で牧民の苦味を契し、地方經濟界の表裏に通曉するの人々何れも該地方の鐵中の錚々たるを思へば、互融會の將來を期して待つべきものと待望せるに既に賛助員たるを諾されしもの

外五十余名、何れも中央地方に名聲を知悉せられるる有力家揃へである點が同會の將來性を確實に裏書せられしものがある。會長には社會慈善事業、又修養團體にして尤も適格なる石城郡神職會長として人格識見共に地方に重きをなす好問村の

吉田定正氏

を推選し、會務の實際には役場事務に通曉三十年の久しきに及ぶ玉川村渡邊太次郎氏及び、事業家として尤も力量と努力剛腹にして仁俠、本會事業に中樞の手腕たる吉田昌弘氏、謹直其ものたる玉川村篤農家として中央地方に余りにも知られし、永山常治氏等して犠牲的其實務に當り、愈々以て石城互融會の發展性の確實さを豫測するに難からざるを示すものでなくてはならず、事務所は

平町才植小路一番地

に置き役員、事務、職員等血みどろの大活躍をなし事業開始以來二ヶ月を出でずして、七百數十名の會員を得たる事を聞く、之も即ち時代の要求と隣保扶助の精神に外ならず

尚ほ 同會は 平方部 四ツ倉方部

植田方部

の各區域に分ち此度小名濱方部の新役を見るや協賛の名を茲に見るに

- 小名濱方部賛助員
- 小名濱町長(順不同)
- 小野晋平氏
- 鈴木榮氏
- 立花雄七氏
- 飯塚榮一郎氏
- 志賀要平氏
- 鈴木富太郎氏
- 野崎亟之助氏
- 西丸猛氏
- 高木惣治氏
- 福尾伊太郎氏
- 野崎昇太郎氏
- 佐川榮二郎氏
- 久保田眞氏
- 小名川彥雄氏

吉田定正氏

を推選し、會務の實際には役場事務に通曉三十年の久しきに及ぶ玉川村渡邊太次郎氏及び、事業家として尤も力量と努力剛腹にして仁俠、本會事業に中樞の手腕たる吉田昌弘氏、謹直其ものたる玉川村篤農家として中央地方に余りにも知られし、永山常治氏等して犠牲的其實務に當り、愈々以て石城互融會の發展性の確實さを豫測するに難からざるを示すものでなくてはならず、事務所は

松本徳次郎氏

消防組頭 區長 松本房之助氏 學務委員 松原正美氏 材木商 内山治七氏 漁業組合長 水野夫人氏 藝妓屋組合長 金成清造氏 西洋料理組合長 田中福松氏 相澤寅松氏

久保田眞先生

は本互融會の指定醫院たる事を快諾し本會員に對し懇切丁寧、入院料、藥價、手術料は特に

二割引

の優遇の由、院内の整頓と病室の新築擴張、本會員に對し如何に援助するかを知らしめしに余りある。斯くの如き事は天時の恵らしむることを如何に大衆の要望する勸懲蓄積と相互扶助、互融更生と隣保團令、益々以て互融の大精神を尊び、吾人は共に、互融會の健全發達を祈るを目的で役員諸氏の犠牲的健闘たらんことを望む

- 松本徳次郎氏
- 松本房之助氏
- 松原正美氏
- 内山治七氏
- 水野夫人氏
- 金成清造氏
- 田中福松氏
- 相澤寅松氏
- 久保田眞先生

銘茶 砂糖 乾物 和洋紙 化粧品 磁器 陶器 袋足 各種日用品

文助大一屋商店

小名濱町中島 (八島屋向ひ)

料理 御出仕 小名濱町

喜樂

田中福松 電話四七番

外建築材・建築具材

阿木材部店

店主 阿木部 利好

平町公園下電話四九四番

(石城互融會指定醫院)

内科小兒科 産婦人科 花柳病科

久保田醫院

小名濱町電話二三番

秋爽らかに気分を 美術寫眞に

尾城寫眞館

小名濱町電話一〇四番

最も理想の相互扶助機關

共存共榮自力更生の策對

本會の事業

- 一、公共事業及慈善事業への奉仕
- 二、懇談會并精神修養講話會
- 三、會員の吉凶慶弔
- 四、人事百般的相談
- 五、法律相談無料
- 六、診療救恤の補助
- 七、納税の代納事務取扱
- 八、勤儉蓄積の奨励
- 九、會員の特典
- 十、會報發行
- 十一、會費發行

入會御希望の方は本會事務員又は事務所へ御申込下さい

相互扶助機關

石城中小商工互融會

本部 福島縣平才町植小路一番地

湯倉方部 湯倉

小名濱方部 小名濱

尾城寫眞館側電話一〇四

銘酒は

清世界

元賣發

店本屋水清

町濱名小

番六話電